

令和6年度実施事業に関するQ & A

資料 1

1 第1回審議会において未回答の質問

No.	委員からの質問	各課等からの回答
1	【1-③学校給食食育推進事業費】 (16 ページ) メニューと残さ量に相関関係はあるか。	【学校給食課】 メニューとの相関関係はありますが、食育の観点から、様々な食材・料理に触れることができるようバラエティに富んだ献立を目標としており、苦手な食材・メニューでも提供するようにしています。

2 意見用紙に記載された質問

No.	委員からの質問	各課等からの回答
1	【1-⑦SEL教育基金事業費】 (24 ページ) 事業指標①②の達成状況Aですが、こども科学賞の応募点数が25%減少した理由について、どのように捉えていますか。	【教育指導課】 これまで、小・中学校において夏休みの課題として取り組む学校が多かったが、夏休みの課題の量や内容について精選していく流れの中で、取り組む児童・生徒が減っている現状があると考えられます。
2	【1-⑫小学校児童支援推進事業費】 (29 ページ) 事業指標の達成率をみると、学習意欲より生活態度が高くなっていますが、生活態度から変化して学習意欲の変化という流れでしょうか。	【教職員課】 小学生においては、成長段階に幅があり、様々な場面で個々の違いが大きく表れるところでもあります。 学校生活は学習面だけではなく、基本的な生活習慣や社会性を学ぶ場でもあることから、落ち着いた雰囲気の中、学校生活を送れることが重要と考えています。 非常勤講師を派遣することにより、校内にゆとりが生まれ、児童一人一人が抱えている問題に向き合うことができれば、生活態度にも変化が生じ、学習意欲の向上にもつながってくるものと考えております。 校内アンケートでも、現場からは「指導や支援のための時間をしっかり確保できている」、「学校全体の指導体制にゆとりが生まれている」との声もあり、一定の効果を実感しております。

No.	委員からの質問	各課等からの回答
3	【2-④先生のための研修事業費】 (40 ページ) 希望制研修「先生のための寺子屋講座」の参加者に偏りなどを感じてはいないでしょうか。特に中学校の教員の参加割合はどうでしょうか。	【教育研究所】 寺子屋講座の参加者の構成については、近年、中学校教諭が約2割、それに対し小学校教諭が約8割というのが現状です。中学校教諭の参加割合が低い理由については、日程や部活動等様々考えられますが、教育研究所としては、中学校の教員にとっても魅力的で参加しやすい方法で開催できるよう更に検討していきます。
4	【4-⑨学校支援プロジェクト推進事業費】 (69 ページ) どのような人材でプロジェクトチームが構成されているのか不明ですが、他の事業と同じように人材の確保が課題になるのでしょうか。	【教育指導課】 学校支援プロジェクトチームは、学校教育指導員(会計年度任用職員の退職校長)及び教育法務主幹、担当指導主事が事務局となり、警察署や児童相談所、民生・児童委員、医師など、事案に応じて連携・協力を必要とする機関によって構成し、問題を起こす児童・生徒に対し、個別指導計画を策定し、直接支援活動を行っています。 市としての人材確保については、学校教育指導員が対象となりますが、今後も経験豊富な退職校長等に依頼していきます。